

草津市都市計画審議会協議会 会議録

■日時：

令和7年3月25日（火）午後3時30分～午後5時15分

■場所：

草津市役所 4階 行政委員会室

■出席委員：

塚口委員、宮本委員、北村委員、吉川委員、井澤委員、田中（治）委員、福田委員、
田中（香）委員、小野委員、先成委員、中野委員、森山委員、川北委員

■欠席委員：

藤井委員

■事務局：

都市計画部 一浦部長、杉田総括副部長

都市計画課 安土課長、三浦課長補佐、高橋係長、長谷川主査、廣畑主査、田中主事

都市地域戦略課 高谷課長

■傍聴者：

0名

1. 開会

- 開会にあたって、一浦部長より挨拶

2. 報告

（1）草津市景観計画の改定について

●事務局

<資料①、資料②について説明>

○委員

- ・景観計画の色彩区分について、0.1Rから10Gまでと、0.1BGから10RPと
いう2つの区分に分けている。一般的に0.1Rから多分5Yぐらいまでをくりにし
てそれ以外とするのが一般的かと思う。グリーン系の色が彩度が高いものを許容してい
るように思うが、基準の根拠は何か。

●事務局

- ・色彩基準については、前回の計画からそのまま引き継いでいるところであり、県で定められている基準を引き継いだものである。根拠については分かりかねるところであるので、来年度以降、委員の方々にもご協力いただきながら検討させていただきたい。

○委員

- ・県で定まった基準とはいうものの、草津市として県の基準がもっともだという考えなのか、もう少し修正できる部分があると考えているのかを主体的に説明いただけたらと思う。草津市の特徴を出そうと思うと、主体的にどういう考えで決めているのかがあっても良いのではないか。

●事務局

- ・規制を厳しくしていくという視点も大事であるが、まずは今ある基準の推奨をしっかりとしていくことで、景観を守っていくというスタンスで進めていきたいというのが今までの基本的な考えである。委員のいう趣旨は重々わかるが、今後もアドバイスをいただきながら、できるだけその方向に持っていくようなステップを踏んでまいりたい。

3. その他

・今後の都市づくりについて

●事務局

●<資料④>について説明>

・笠縫東学区における地域再生の方向性について

●事務局

●<資料⑤>について説明>

○委員

- ・資料④について、既存集落の維持というところで市街化調整区域の地区計画をしていくというのが何点かあるが、今後人口減少も進み、より質の良い住環境が望まれるかと思うので、今までのような住居系地域の指定ではなくて、より質の高い田園住宅地域も考えていただければと思う。

●事務局

- ・基本的には本来開発を抑制するエリアである市街化調整区域であるため、市街化区域の計画的な市街化に支障がないような形で地区計画を進めていこうと考えている。田園住居地域については、市街化区域に編入する場合のことかと思うが、今の時点で既存集落の維持に向けて地区計画を進めようとしているところについては、市街化編入は想定していない。

○委員

- ・一部市街化に編入するところがあるが、そこは地区計画には入れないということか。

●事務局

- ・そのとおりである。分譲特区に指定されている部分については、住居系の開発が進めば市街化区域への編入は考えているが、資料④でいう既存集落の維持というのはかぶらないようなエリア設定を考えている。

○委員

- ・資料④の市街化調整区域における地区計画の既存と新設の違いについて。

●事務局

- ・既存の地区計画については、生活拠点形成することを目的とし、必要に応じて戸建て住宅地区を定めることができる生活拠点型地区計画を策定した事例がある。また、新規の地区計画については、皆様にご意見をお聞きしながら、民間の活力を活用したまちづくりを進めるための制度設計を考えていきたい。

○委員

- ・資料⑤の防災道路整備による防災力の向上についてあるが、市としてどのように考えているのか。

●事務局

- ・防災の地区計画等で、1本しっかりとした防災の街区をつくっていくという概念と、集落内の狭隘な道路等について話し合いさせていただきながら、制度を考えられればと思っている。

○委員

- ・資料⑤のなかで学区のまちづくりを進めるためには、調整区域内の人口を一定維持していくことが必要とあるが、基準や目標の考えはあるのか。

●事務局

- ・基準というのは特に考えていないが、調整区域内の集落のピーク時の人口を維持するという考え方が基本的にはベースになると思う。今後衰退していくのに歯止めをかけながら、市街化区域で人口が増えるところとの均衡あるまちづくりができるような形で進められればと考えている。

4. 閉会

- 閉会にあたって、杉田総括副部長より挨拶

以上